

本院で胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌の外科治療を受けられた

患者さん・ご家族の皆様へ

～手術時（1996年1月から2021年12月まで）に摘出された癌組織の医学研究への
使用のお願い～

【研究課題名】

癌組織中の実質および間質細胞に発現するタンパク質の研究

*実質細胞とは癌細胞そのもの、間質細胞とは癌細胞の周囲にある血管や繊維組織を構成する細胞のことです。

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

1996（平成8年）年1月～2021（令和3年）年12月に当院で胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌の手術を受けられた方

【研究の目的・方法について】

いまや、日本人の死亡原因の一位となった癌ですが、一口に癌といっても、たちの悪い悪性度の高いものから、ゆっくりと発育する、良性腫瘍に近いものまで様々です。また、同じ癌でも、転移がある場合や転移のない場合がありますが、何が原因でそのような違いがあるのかは、まだ判っていない部分が多くあります。また、癌は癌細胞だけではなく、癌細胞以外の様々な細胞、たとえば、血管や、コラーゲンを作る線維芽細胞などから成り立っています。そして、癌細胞自身はもちろんですが、癌を取り巻くいろいろな細胞も、癌の悪性度や転移に関係していることが判っています。

本研究では、胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌の患者さんから治療目的で摘出された癌組織を用いて、癌を取り巻く細胞がどのようなタンパク質をもっているかを、免疫染色と呼ばれる手法で調べ、どんなタンパク質が癌の悪性度や転移などの、癌の性格に関係しているかを明らかにしたいと考えています。異常を示しているタンパク質が発見できれば、悪性度の評価や転移の予測に役立つと考えています。

研究期間：2022年9月8日～2027年3月31日

【使用させていただく試料・情報について】

本院におきまして、既に癌の治療を受けられた患者さんの腫瘍組織（試料）およ

び診療情報を医学研究へ応用させていただきたいと思えます。腫瘍組織（試料）とは、手術後の病理検査のために作成したパラフィンブロック（腫瘍組織をパラフィンの中に埋め込んだもの）等です。診療情報はカルテに記載されている患者さんの年齢、腫瘍の大きさや転移の有無です。本研究では、診断の終了した後の残りの腫瘍組織を使用させていただきます。その際、患者さん個人が特定出来ない様に、腫瘍組織および診療情報には新たに番号をつけ、どの患者さんの腫瘍組織か判らない様にします。

なお、本研究は、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、患者さん個人を特定できないようにしたうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

腫瘍組織（試料）の保存は論文発表後5年間、診療情報については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、癌組織（試料）は焼却処分し、診療情報については、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大分大学医学部診断病理学講座 駄阿勉

【外部への試料・情報の提供】

本研究で収集した試料・情報を他の機関へ提供することはありません。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来治療法などの開発につながり、利益が生まれる可能性がありますが、万一、利益が生まれた場合、患者さんはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部診断病理学講座の基盤研究経費、寄付金を用いて研究が行われます。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金

錢および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ試料（腫瘍組織）および診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学医学部診断病理学講座	教授 駄阿 勉
研究分担者	大分大学大学院医学系研究科修士課程	大学院生 生野 亜紀
研究分担者	大分大学大学院医学系研究科博士課程	大学院生 芝原 一樹

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5683

担当者：大分大学医学部診断病理学講座 教授 駄阿 勉（だあ つとむ）